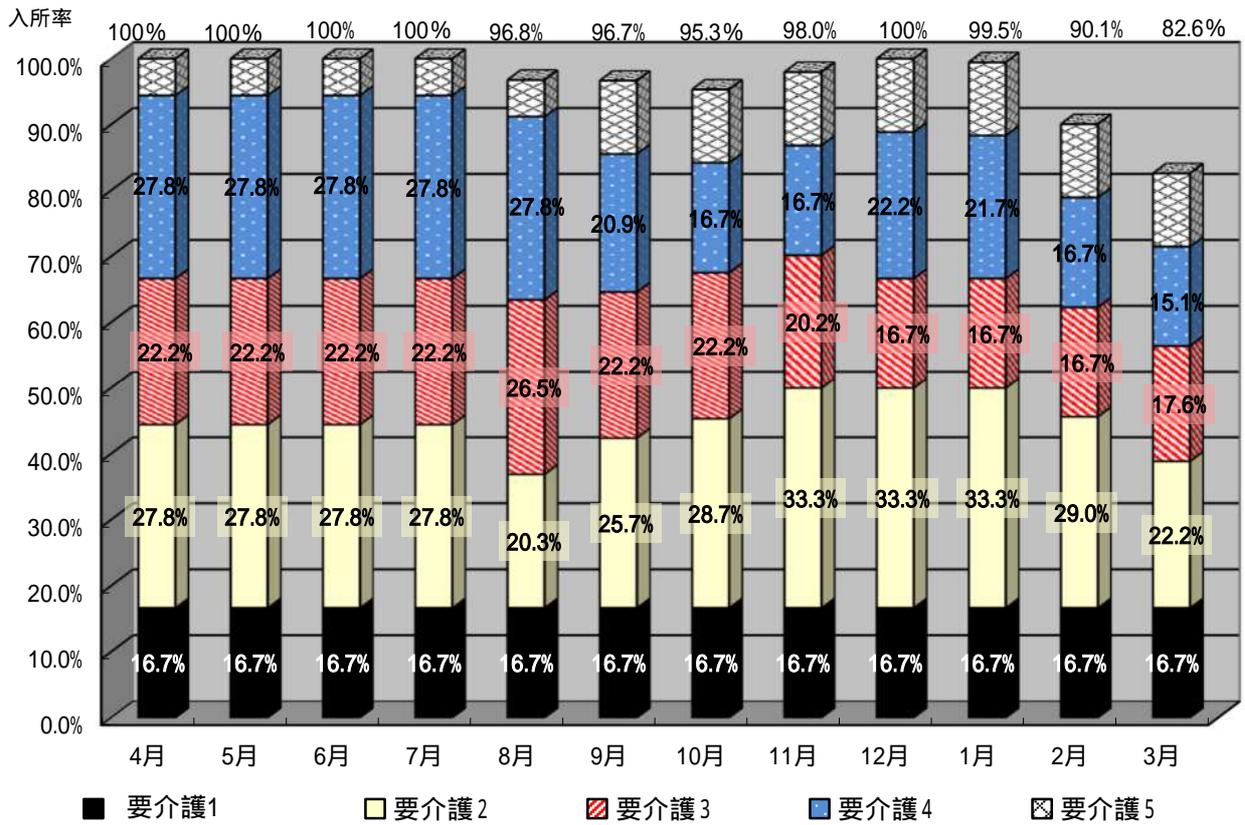


令和4年度 事業報告書

グループホームはなんばの里

令和4年度 はなんばの里利用者介護度別利用状況 累計利用率 96.6%



はなんばの里利用者平均介護度の変化



入退所の状況

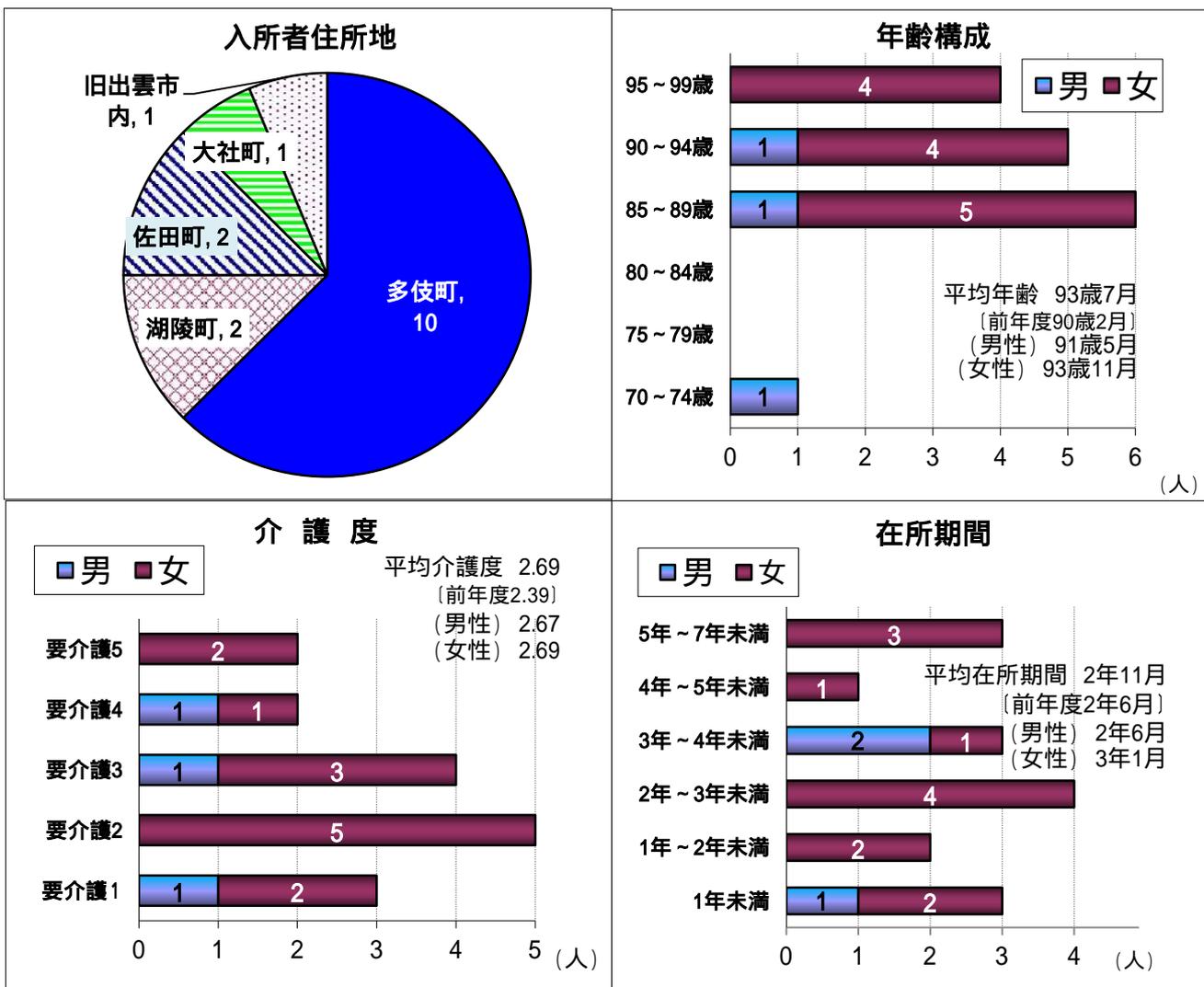
・入所状況 入所者数 3名

入所時介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	0	0	2	1	0	0
入所前の居所	自宅	病院	老人保健施設			
	1	1	1			
入所前住所地	多伎町	湖陵町	佐田町	大社町	斐川町	旧出雲市
	2	0	0	1	0	0
性別	男	女				
	1	2				

・退所状況 退所者数 5名

退所時介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	0	1	1	1	2	0
退所理由	死亡	長期入院	在宅復帰	他施設入所		
	4	0	0	1		
入所前住所地	多伎町	湖陵町	佐田町	大社町	斐川町	旧出雲市
	3	0	1	0	0	1
性別	男	女				
	0	5				

入所者状況(令和5年3月31日現在)



令和4年度事業報告

(重点目標、自己評価・外部評価、地域・家族との連携、ボランティア、身体拘束適正化、研修)

事業計画重点目標の達成状況について

重点目標	達成状況
新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを継続するとともに、マニュアルやBCPに沿った研修の充実を図る。	9月にクラスターが発生した。多くのことを学びBCP計画の見直しが必要となった。研修会を行うまでのところでクラスターが発生したため、ガウンテクニックやその状況に応じたゾーニングなど実践を通して学び得たことが大きかった。
介護記録の記入・保存等の電磁的対応に着手し、業務の効率化・負担軽減を図っていく。	業者による端末機器の扱いの説明を職員数名が受けたが、業務の効率化を図るにはかなりの職員が端末機器の扱いを細部まで把握しておかなければ難しいと感じた。未だ着手していないが、効率化・負担軽減を目的とせず使用していきたい。
その時々々の場面に依りて配慮し、適切な声掛けや話し方ができるようになる。	お誘いするとき、排泄の場面、大勢の中など個々の生活場面に依りて声掛けや気持ちに概ね配慮ができた。
利用者一人ひとりに密に関わることで、表情の変化や言葉を引き出せるようになる。	ケア時や余暇時間など個々の職員で関わりを持てる時間を作り出した。発語が少ない方にもどうしたら沢山話していただけるのか考えながら関わりを持つことができた。

自己評価・外部評価について

自己評価	令和5年1月18日(やまびこ棟)・1月31日(日々輝棟)実施
外部評価	外部評価頻度を2年に1回とすることができる要件(外部評価実施や目標達成の状況、運営推進会議の開催状況等)を満たしているため、外部評価実施回数特例適用により令和4年度は外部評価実施が免除

実習・研修・施設見学等の受け入れ

依頼先又は名称	期間	人数	内容
入所申し込み家族	随時		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行ったうえで施設見学

家族との連携

外出・外泊の状況	外出(通院33回、通院以外0回) 外泊0名
行事参加の状況	はなんばの里夏祭り 参加者 利用者全員 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族等の参加は中止
	クリスマス忘年会 参加者 利用者全員 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族の参加は中止
家族懇談会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
近況報告	家庭通信の発行...年4回(4月、7月、10月、1月)実施
	はなんばの里たよりの発行...年4回(4月、7月、10月、1月)実施

ボランティア等

依頼内容(計画)	依頼予定の団体名等	実施状況
折り紙(月1回)	折っこクラブ[3~4名]	新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れ中止
習字(月1回)	習字指導[1名]	
窓拭き・窓洗い	はなんば利用者家族、やまもも利用者家族、地域住民	
草刈り	田儀地区中学生・家族等	
窓拭き・窓洗い	はなんば利用者家族・やまもも利用者家族、地域住民	

苦情対応

苦情件数	なし
------	----

情報公表等

<ul style="list-style-type: none"> ・「介護サービス情報公表システム(厚生労働省 HP・県 HP)」による介護サービス情報の公表 ・多伎の郷機関誌の発行...2回 ・多伎の郷ホームページによる情報公表等

身体拘束適正化の取り組み

取り組み内容	取り組み状況
身体拘束適正化委員会の開催 [3月に1回以上開催]	4回開催(5月24日、7月15日(書面会議)、11月30日、1月26日) いずれも運営推進会議にて実施
指針の作成	平成30年度作成済(変更なし)
研修の実施 [定期的な教育(年2回以上)]	2回実施(5月25日、1月11日)
身体拘束の状況	緊急やむを得ない場合を含め、全く行っていない。

研修実施状況

1. 法人・事業所内研修

実施月	研修会名	講師	参加職種	参加人数	日数	研修内容
5月	身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修会	介護職員	全職種	10名	1日	不適切ケアと身体拘束等適正化のための指針について
6月	感染症に関する研修会	看護職員	全職種	9名	1日	食中毒について(座学とガウンテクニック実践)
7月	救急救命に関する研修会	介護職員 老健事務長	全職種	11名	1日	普通救命講習
8月	事故防止に関する研修会	介護職員	全職種	10名	1日	ヒヤリハット事例と対処法について
10月	認知症に関する研修会	介護職員	全職種	10名	1日	認知症の基礎知識と体験
11月	看取りに関する研修会	施設長	全職種	9名	1日	看取りのプロセスについて
12月	感染症に関する研修会	施設長	全職種	11名	1日	インフルエンザについて
1月	身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修会	介護職員	全職種	11名	1日	基礎知識について
2月	事故防止に関する研修会	介護職員	全職種	12名	1日	事例検討
3月	防災に関する研修会	施設長	全職種	9名	1日	防災計画書に基づくイメージトレーニング

2. 施設外研修、集団指導等

実施月	研修会・会議名	開催者/場所	参加者	日数
7月～ 11月	島根県認知症介護実践研修『実践リーダー研修』	県福祉人材センター / 出雲 施設内実習	介護職員1名	35日
3月	島根県高齢者虐待防止研修	県、県社会福祉士会 / オンライン研修	施設長	1日
3月	認知症介護基礎研修	認知症介護研究・研修仙台センター / eラーニング	介護職員1名	1日
3月	出雲市介護保険サービス事業者集団指導	出雲市高齢者福祉課 / オンライン研修	施設長 計画作成担当者1名	1日

令和4年度 事業報告(行事・活動実施状況)

行事・活動名	実施日	実施場所	参加利用者	家族・ボランティア等
春のドライブ	4月 6、11日	町内、花の郷	8名	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で実施
かたら団子作り	6月 8日 (水)	はなんばホール	18名	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で実施
はなんばの里夏祭り	8月 3日 (水)	はなんばホール	18名	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族等の参加は中止
多伎の郷敬老会	9月 14日 予定	はなんばホール	18名	新型コロナウイルス感染におけるクラスターが発生したため中止
おはぎ作り	9月 27日 予定	はなんばホール	18名	新型コロナウイルス感染におけるクラスターが発生したため中止
田儀祭り見学	10月 19日 (水)	はなんば駐車場	17名	
運動会	11月 4日 (金)	はなんばホール	18名	
出初式見学	1月 9日 (月)	はなんば駐車場	12名	
クリスマス忘年会	12月 7日 (水)	はなんばホール	18名	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族等の参加は中止
書初め	1月 6日 (金)	はなんばホール	15名	
節分会	2月 3日 (水)	はなんばホール	17名	
ぼたもち作り	3月 2日 (水)	はなんばホール	16名	
ひな祭り会	3月 2日 (水)	はなんばホール	16名	
春のお花見ドライブ・散歩	3月 25日 (土、水)	奥田儀、大田方面	15名	
誕生会	その月の行事と一緒に 行った	はなんばホール	延べ人数	
消防訓練	10月 12日 (水)	夜間想定 参加者:利用者17名、職員6名、山陰防災電機1名		
	3月 23日 (木)	日中想定 参加者:利用者15名、職員10名、山陰防災電機2名		

令和4年度 事業報告(医療・健康面、事故防止対策)

医療・健康面

健康チェック	バイタルチェック:1日1回、状態に応じ適宜測定,入所者の身体・精神状態に応じて、ケア・医療処置・与薬・投薬調整を行う。体重測定:月1回
健康診断	利用者:老人基本検診(行っていない) 職員:年2回(8月、2月...一般健康診断)
感染症予防	・標準感染予防策についての研修実施・対策の再確認 ・コロナワクチン予防接種:利用者・職員一部を除いて施行 ・インフルエンザ予防接種:利用者・職員一部を除いて施行 ・ホール及び体調不良者の居室に加湿器設置 ・うがい、手洗いの励行 ・ノロウイルス等感染対策:ホームの入り口に手指消毒薬を置く。食事準備前手指消毒、食前のテーブル消毒、排泄介助後の手洗い・手指消毒、手袋の使用
新型コロナウイルス感染症への対策	『社会福祉法人多伎の郷 新型コロナウイルス感染症の基本対応』に沿った対応を実施。9月6日に施設内で新型コロナウイルスが発生。職員も含め9月22日に終息。

事故防止対策

保険者へ報告した事故について 件数...1件

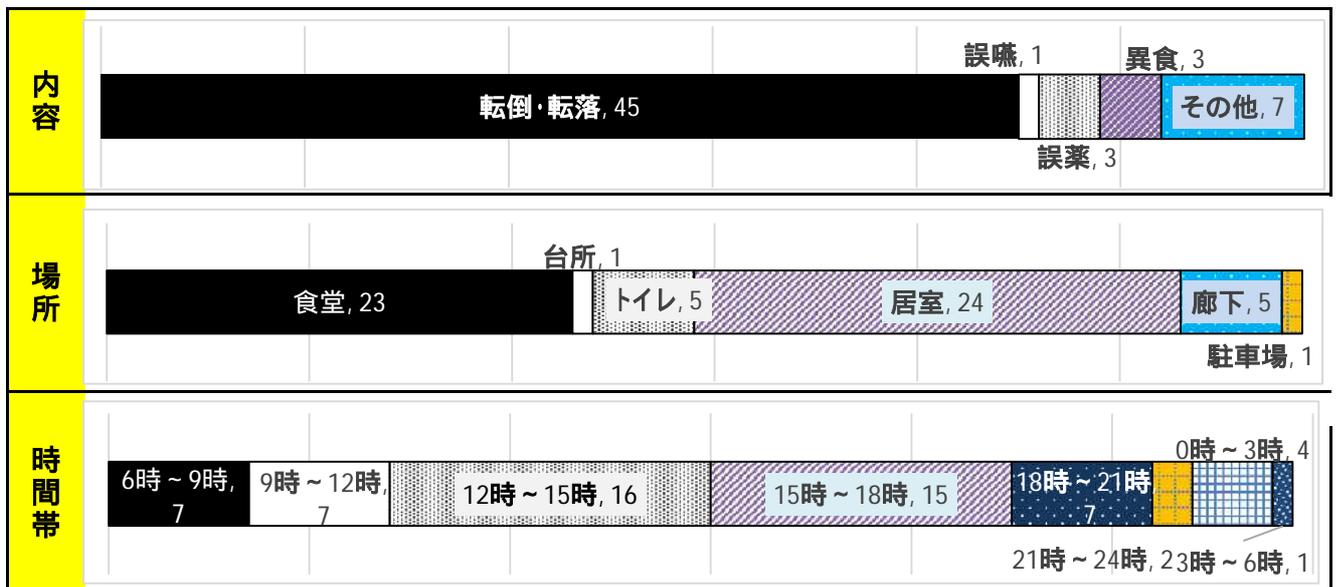
事故の状況	事故後の主な対応及び状況
左大腿骨転子部骨折 (早朝、身支度のためにクローゼットから洋服を取り出そうとし、バランスが崩れ転倒したと思われる。患部ボルト固定術。術後の様子観察に加え、疼痛緩和目的のため、約3週間の入院加療を要した。)	救急搬送。ご家族の希望もあり、即日手術。リハビリは認知症の為、歩行までの回復には至らず、立位可能な状態までとなった。

ホーム内報告の事故等(『事故報告書』(誤薬、擦過傷等)、『ひやりハット報告書』)について

『事故報告書』...47件(軽微・軽度38件・中度9件)

『ひやりはつと報告書』...12件

計 59件



発見方法・原因分析・防止対策

まとめ

報告書の件数自体は昨年度より半数近く減っているが、転倒、転落の割合が多い。下肢筋力の低下により、立位や歩行時に不安のある方に対しセンサーを使用しているが、年々増える傾向にある。夜間など職員が少ない時間帯ではなく、日勤帯の午後によく発生しており、『センサーのスイッチの入れ忘れ』という原因が多く挙げられる。センサーを正しく使用することに加え、巡視の他、居室の傍を通った際には室内の様子を窺い安全確認をしたり、気持ちが落ち着かない方には可能な範囲で職員が傍で見守る等、センサーだけに頼ることがないよう工夫し、事故防止に努めた。誤薬事故件数は1件。その他は薬に関するものが多く占めており、服薬する前段階において、薬をセットする時、服薬時の呼名確認時、点眼薬の確認時などに間違えに気づいている。誤薬には至っていないが、その時点での間違えとして軽微の事故報告として挙げた。服薬に関しては誤薬につながらないよう、これまでと同様、服薬前の段階で間違えに気づけるシステムを確実にやっていく。

ひやりはつと報告書の件数は12件となっているが、事故を未然に防ぐためにユニット会議やリスク委員会を活用し、安全対策を講じることが不十分な点があった。報告書に記載された個人の見解の事故防止対策だけではなく、会議を活用し、利用者がより安全で安心して生活できる環境を整えていくことや統一したケアがなされることが今後の課題となっている。

感染発生の経緯・対応の概要等について

9月5日、やまびこ棟の利用者1名が熱発。翌日、かかりつけ医が抗原検査を行ったところ陽性。職員に対しても6,7日と抗原検査を実施したが全員陰性であった。職員の同居家族にも濃厚接触者や感染者はいない。面会はWeb面会のみで家族の出入りはないため、感染経路としてはない。障がい者自立支援事業所のスタッフおよび利用者が週4回1時間程度掃除のために出入りするため、関係者に症状の有無や周囲に濃厚接触者、感染者がいるかどうかの確認を行ったが、該当者なし。6日の明け方から対象利用者に対し感染対応した。感染経路は定かではないが、利用者から発生することはないため、施設職員や関係者が無症状で施設内に持ち込み、利用者に感染させてしまった可能性が考えられる。

行政への報告、保健所等との連携について

島根県への報告	県指定様式の『感染状況等調査』にて、9月5日～22日の間の感染者数をFAXにて報告
出雲市への報告	感染者発生ごとに出雲市健康福祉部高齢者福祉課に電話にて報告
保健所との連携	9月8日にDMAT（構成：県立中央病院副院長 山森氏、県高齢者福祉課、出雲保健所）来所。実際の現場を視察後、感染拡大しないよう感染対応の方法やゾーニングについて指導を受けた。感染対応終了日までの計5回、DMATとのWeb会議にて困っていることや悩みごとを相談。助言やアドバイス、心のケア等のフォローアップを受け、常に連携を図りながら感染拡大防止に向けて取り組んだ。

家族への報告について

9月7日、電話にてやまびこ棟の利用者家族に、8日にやまびこ棟の利用者全員と全職員を対象としてPCR検査を実施する旨を報告。9日陽性者の利用者家族に対し、新型コロナウイルス陽性であったことと感染拡大しないよう県や保健所の指導を受けながら対応していることを報告。また、日々輝棟に職員や利用者も頻回に行き来することから、保健所から日々輝棟の利用者もPCR検査を実施したほうが良いとのことで9日に実施。翌日、同様に陽性者の家族に対し連絡した。16日、その後の経過を改めて家族に報告。感染対応日の目安をお伝えした。26日、家族に対し23日に感染対応終了した旨を電話にて報告した。

職員感染による欠員への対応について

隣接のデイサービスセンターやまももを9月10日～20日までの間（8営業日）臨時休業とし、やまももの職員は主に昼食及び夕食作り、必要物品の買い出し等の業務にあたった。この間、やまももの利用者で代替サービスの希望者が3名おられ、担当の介護支援専門員に調整を依頼し、希望のサービスを利用させていただいた。

期間中、本部職員・潮風苑事務職員・老健たき事務職員に看護業務や衛生用品・備品の購入等の支援を受けた。

9月13日～18日の間、老健たき及び潮風苑から延べ介護職員3名の応援を受けた。

令和4年9月新型コロナウイルスクラスター発生時の状況

		5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
入所者	やまびこ棟		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	日々輝棟							○	○	○	○	○	○							
職員				○	○	○	○	○	○	○	○	出勤								
					○	○	○	○	○	○	○	○	出勤							
					○	○	○	○	○	○	○	○	出勤							
									○	○	○	○	○			出勤				
										○	○	○	○	○	○	○				
												○	○	○	○	○	○	○	出勤	
感染入所者計	1	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	3	1	1	1	0	0	0	0	
感染職員計	0	0	1	4	4	4	5	5	5	6	5	2	2	2	1	1	1	0	0	
感染者計	1	2	3	6	8	8	9	9	9	10	9	5	3	3	2	1	1	0	0	

感染日

○療養期間

濃厚接触者に必要であった居室待機期間

自主療養期間

グループホームはなんばの里 運営推進会議

開催回数	開催場所	出席者	会議の内容	
6回 (2ヶ月に1回)	・グループホーム はなんばの里 (5月) ・デイサービスセンター やまもも (11・3月) 7・9月は書面会議	運営推進会議委員 (家族代表2名 ・地域住民の代表2名 ・出雲市高齢者福祉課職員 ・潮風苑施設長 ・はなんばの里施設長 やまもも職員 生活相談員1名(5月) 機能訓練指導員1名(1月))	毎回	・利用者状況報告 / 活動状況報告 ・行事予定について / 意見交換
			5月	令和3年度事業報告について ・外部評価結果報告と目標達成計画について ・身体拘束等適正化について
			7月	・身体拘束等適正化について
			9月	・新型コロナウイルスクラスター発生時の状況及び対応について
			11月	・身体拘束等適正化について
			1月	・次年度事業について ・身体拘束適正化について
			3月	・令和4年度事業計画について ・利用料の変更について

報告書概要 (会議の内容)

(令和4年5月～令和5年3月分)

会議の内容...評価、要望、意見、助言等							
5 月 24 日	<p>利用者状況・活動状況・今後の行事予定・令和3年度事業報告</p> <p>○ 家族の代表より 待機者が入所されるのは申し込んだ順ですか。</p> <p>施設より 申し込みされていても声がけすると「今は他のサービスを利用しているから、まだいいです。」といったこともあり、必ずしも申し込み順ということにはなりません。また、空きができた時点での申込者の方の状態によっては受け入れが難しい場合もあります。入所申し込みについてはいろんなところで案内・声がけはしていますが、昨年の10月に満床になり、以降は実際の受け入れを行っていません。</p> <p>出雲市より 事業報告の中でタブレットの導入や取り組みのことについて説明がありましたが、今後はどのような状況にしていこうと考えておられますか。</p> <p>施設より タブレットは国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業による助成ですでに4台導入しています。感染対策として対面面会が困難な時のウェブ面会用としてタブレットを導入したものです。なかなか、操作が難しく導入に時間がかかりましたが、このタブレットとご家族のスマホでWEB面会をしていただくことができるようになりました。ただ、常にスムーズなWEB面会が行えるようにするためにはご家族もスマホの扱いに慣れていただく必要があり、なかなか難しい面もあります。</p> <p>また、このタブレットに介護ソフトを入れて介護記録の記入・保存をし、業務の効率化・負担軽減を図っていきたいと考えていますが、現時点では取り組めていません。はなんばの職員だけではわからないので、専門家の指導を受け取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>外部評価結果報告と目標達成計画 『外部評価で確認されたこの事業所の優れている点、工夫点』(評価機関記入全文)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>田儀川とJR山陰線が交差し、日本海が望める国道沿いの風光明媚な地に開設16年目を迎えるホームはある。認知症を患っている普通の高齢者への介護へのより良いあり方を目指して、優しく、楽しくあたたかな雰囲気になったホーム作りがなされてきた。中庭の芝生の上で日光浴をしながらお茶会を楽しんだり、散歩したりなどの日常生活を支援している。時々行う利用者さん手作りの食事では、職員にサポートされながら、料理に勤しむ姿がみられる。重度化した利用者さんには、医療福祉の協力で看取りをしている。コロナ禍にあって、地域の祭りや行事が次々と中止になる中、ホームとして、利用者さんに少しでも楽しく過ごしてもらおうと季節の行事など様々に工夫しており、運営推進会議のメンバーとともに、社会福祉法人の理念でもある地域に密着した活動に取り組んでいる。</p> </div> <p>『次のステップに向けて期待したい内容』として評価・記載された内容 (外部評価全20項目中0項目)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>取り組みを期待したい内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	取り組みを期待したい内容		なし	
番号	項目	取り組みを期待したい内容					
	なし						

出雲市へ提出した目標達成計画

優先順位	出来ていない点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	ご家族は行事やイベントに参加したり、施設運営に協力したいと思われている。	ご家族にもっと積極的に情報提供や声掛けをすると共に、ご本人とご家族の絆を大切にしていく。	・ご家族の面会時に状況をお伝えするだけでなく、会話の橋渡し役となって、スムーズな意思疎通を支援する。 ・行事やイベントだけでなく、散髪や通院の予定等様々な情報をご家族に発信していく。	6ヶ月
2	難聴の方や意思疎通の図りにくい方に対して、だんだん口調が強くなるなど、丁寧さに欠けることがある。	難聴や意思疎通の図りにくい方に対して、伝わりやすい工夫をし、敬意の心を持って丁寧に接する。	・今一度、接遇マナーについての勉強会を行う。 ・合わせて認知症高齢者に配慮した接遇についてユニット会議等で振り返りを行う。	6ヶ月

身体拘束等適正化委員会

施設より身体拘束廃止委員会（詰所会議）の報告

- ・身体拘束廃止委員会（詰所会議）から別紙のとおり身体的拘束等の状況報告を行った。

報告に対する質問・意見・要望等はなし。

別紙

身体的拘束等の状況報告

身体拘束の状況：緊急やむを得ない場合を含め、全く行っていません。

教育・研修等の開催：令和4年2月9日 詰所会議にて身体拘束に関する研修会を行った

日常的ケアに対する取り組みと見直し：毎月、各ユニットで高齢者虐待、不適切なケアについて話し合いの場を持ち、翌月の月目標として挙げ取り組んでいる。また、詰所会議にて各ユニットで挙げた日常的ケアに対する見直しを基に日々のケアを全職員で振り返り、適切なケアへと繋げていくようにしている。

《令和4年2月に行った研修会より》

拘束の「3つのロック」について、介護職員1名が担当し施設内研修を行いました。

介護施設では広義の身体拘束として「スピーチロック（言葉の拘束）」、「フィジカルロック（身体的拘束）」、「ドラッグロック（薬物拘束）」が定義されています。

フィジカルロックとは、物理的にご利用者の身体を拘束し動けなくすることであり、ドラッグロックとは薬物の過剰投与や不適切投与を行うことにより、ご利用者の行動を抑制することとあります。

この二つに関しては、薬や道具がないと行えませんが、スピーチロックは誰でも行ってしまう恐れがあり、私たちもユニット会議において「不適切なケアを考える」ことにおいてテーマとなる問題でもあります。

スピーチロックは接遇面にも関係しており、ご利用者の皆さんに気持ちよく過ごして頂くために、スピーチロックがなぜよくないのかという話し合いをしました。

スピーチロックによって、自分がしたいことを禁止されたり、長時間待たされたりすると、「無視された」「拒否された」と感じ、ご利用者は意思表示することを諦めてしまったり、自分から行動するという意識が低くなり、行動意欲の低下につながっていきます。その結果、ADL（日常生活の動作能力）が低下し、要介護度が悪化してしまう恐れがあると説明を受けました。その中でも私たち介護職員が兎角してしまいがちなことが、「ちょっと待ってくださいね」という言葉がけでした。

しっかりした説明を加えないと、ご利用者からすると「いつまで待たんといけんのか」「まだか」という気持ちになり、諦めの気持ちを持たれる方もいらっしゃいます。「～したらすぐに伺いますので、少しお待ちください」「(具体的に)あと分したら行きますね」と言葉を付け加えることで気持ち的にも納得できることも多くあります。また、否定的な言葉ではなく、相手の立場に立って依頼形で声を掛ける。例えば、「ここへ座って」ではなく「立っていると危ないので、ここに座っていただけますか」などと声を掛けることで気持ちよく受け入れることが出来ます。

これは一般的な言葉の置き換えですが、はなんばの里では、これに付け加え、個々の気持ちを推し量りながら、「足は痛くないですか。よかったですこの椅子に腰かけて休まれますか」と声をかける職員が増えました。

認知症の方には特に配慮が必要だと思っています。どんな声掛けにしても、そこに笑顔が伴っていないと不気味に感じることが多いと思います。マスクをしているため、表情がわかりづらいところもありますが、笑顔と優しい口調で相手の気持ちを考えながら声を掛けていきたいと考えています。

5
月
24
日

5 月 24 日	<p>○ 家族の代表より 入所者がマスクをすることは難しいですか。</p> <p>施設より 通常施設内でマスクをすることは難しいです。職員が持ち込まないことが一番かと思います。通院等で外出される時は説明してつけてもらうようにしています。</p>															
7 月 15 日 (情報提供日)	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため書面会議を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="212 338 384 376">議題</th> <th data-bbox="392 338 762 376">委員からの意見・要望・質問等</th> <th data-bbox="770 338 1489 376">意見等に対する回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="212 387 384 450">利用者状況報告</td> <td data-bbox="392 387 762 450">なし</td> <td data-bbox="770 387 1489 450"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 461 384 757">活動状況報告・今後の行事予定について</td> <td data-bbox="392 461 762 757"> <p>○出雲市より</p> <p>・6月に入り新型コロナウイルス感染症が急拡大する中、行事等についても苦慮されていることと思います。現在、外部からのボランティアの受け入れを中止されているようですが、それに替わるイベントやレク等はどんな事をされていますか。</p> </td> <td data-bbox="770 461 1489 757"> <p>・外部からのボランティアの受け入れの中止や面会についてもオンライン面会のみとさせていただいています。行事については規模を縮小する形で年間計画に基づいて定期的に行っています。レクリエーション活動については、職員不足の関係もあり、午前・午後と両方は行えない日も多いですが、一日一回は皆さんと共に楽しめる活動を行っています。はさみを使い折り紙等を切っていただいたり、色を塗っていただいたりして、行事を行った時の掲示物作品や季節を感じていただけるような作品作りを行っています。歌やことわざあてクイズも楽しんでいただいているようです。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 768 384 831">身体拘束適正化について</td> <td data-bbox="392 768 762 831">なし</td> <td data-bbox="770 768 1489 831"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 842 384 1104">その他</td> <td data-bbox="392 842 762 1104"> <p>○家族の代表より</p> <p>・児童福祉施設、高齢者福祉施設でのクラスター発生、感染拡大のニュースを聞く中、職員の皆様のご苦労が計り知れません。身体に気を付けて頑張ってください。よろしく願いいたします。</p> </td> <td data-bbox="770 842 1489 1104"> <p>・お気遣いありがとうございます。新型コロナウイルス感染症も落ち着くことなく第7波が猛威を振る中、どこの施設でも感染しないように気をつけています。しかし、同居家族の感染から端を発して職員が休みを余儀なくされることもあり、ご利用者の皆様には十分なケアができているのだろうかと心配になることもあります。新型コロナウイルス感染症の終息を願うと共に、一日も早くご家族の皆様とも面会したり外出したりお日常の生活に戻れるようお願いばかりです。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	議題	委員からの意見・要望・質問等	意見等に対する回答	利用者状況報告	なし		活動状況報告・今後の行事予定について	<p>○出雲市より</p> <p>・6月に入り新型コロナウイルス感染症が急拡大する中、行事等についても苦慮されていることと思います。現在、外部からのボランティアの受け入れを中止されているようですが、それに替わるイベントやレク等はどんな事をされていますか。</p>	<p>・外部からのボランティアの受け入れの中止や面会についてもオンライン面会のみとさせていただいています。行事については規模を縮小する形で年間計画に基づいて定期的に行っています。レクリエーション活動については、職員不足の関係もあり、午前・午後と両方は行えない日も多いですが、一日一回は皆さんと共に楽しめる活動を行っています。はさみを使い折り紙等を切っていただいたり、色を塗っていただいたりして、行事を行った時の掲示物作品や季節を感じていただけるような作品作りを行っています。歌やことわざあてクイズも楽しんでいただいているようです。</p>	身体拘束適正化について	なし		その他	<p>○家族の代表より</p> <p>・児童福祉施設、高齢者福祉施設でのクラスター発生、感染拡大のニュースを聞く中、職員の皆様のご苦労が計り知れません。身体に気を付けて頑張ってください。よろしく願いいたします。</p>	<p>・お気遣いありがとうございます。新型コロナウイルス感染症も落ち着くことなく第7波が猛威を振る中、どこの施設でも感染しないように気をつけています。しかし、同居家族の感染から端を発して職員が休みを余儀なくされることもあり、ご利用者の皆様には十分なケアができているのだろうかと心配になることもあります。新型コロナウイルス感染症の終息を願うと共に、一日も早くご家族の皆様とも面会したり外出したりお日常の生活に戻れるようお願いばかりです。</p>
議題	委員からの意見・要望・質問等	意見等に対する回答														
利用者状況報告	なし															
活動状況報告・今後の行事予定について	<p>○出雲市より</p> <p>・6月に入り新型コロナウイルス感染症が急拡大する中、行事等についても苦慮されていることと思います。現在、外部からのボランティアの受け入れを中止されているようですが、それに替わるイベントやレク等はどんな事をされていますか。</p>	<p>・外部からのボランティアの受け入れの中止や面会についてもオンライン面会のみとさせていただいています。行事については規模を縮小する形で年間計画に基づいて定期的に行っています。レクリエーション活動については、職員不足の関係もあり、午前・午後と両方は行えない日も多いですが、一日一回は皆さんと共に楽しめる活動を行っています。はさみを使い折り紙等を切っていただいたり、色を塗っていただいたりして、行事を行った時の掲示物作品や季節を感じていただけるような作品作りを行っています。歌やことわざあてクイズも楽しんでいただいているようです。</p>														
身体拘束適正化について	なし															
その他	<p>○家族の代表より</p> <p>・児童福祉施設、高齢者福祉施設でのクラスター発生、感染拡大のニュースを聞く中、職員の皆様のご苦労が計り知れません。身体に気を付けて頑張ってください。よろしく願いいたします。</p>	<p>・お気遣いありがとうございます。新型コロナウイルス感染症も落ち着くことなく第7波が猛威を振る中、どこの施設でも感染しないように気をつけています。しかし、同居家族の感染から端を発して職員が休みを余儀なくされることもあり、ご利用者の皆様には十分なケアができているのだろうかと心配になることもあります。新型コロナウイルス感染症の終息を願うと共に、一日も早くご家族の皆様とも面会したり外出したりお日常の生活に戻れるようお願いばかりです。</p>														
9 月 28 日 (情報提供日)	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため書面会議を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="212 1211 384 1249">議題</th> <th data-bbox="392 1211 762 1249">委員からの意見・要望・質問等</th> <th data-bbox="770 1211 1489 1249">意見等に対する回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="212 1261 384 1323">利用者状況報告</td> <td data-bbox="392 1261 762 1323">なし</td> <td data-bbox="770 1261 1489 1323"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1335 384 1397">活動状況報告・今後の行事予定について</td> <td data-bbox="392 1335 762 1397"> <p>○家族の代表より</p> <p>・楽しい行事が再開出来ることを願っています。</p> </td> <td data-bbox="770 1335 1489 1397"> <p>・ご家族や地域の方を交えての行事は、まだまだ難しいところですが、施設内でご利用者の方に季節を感じ楽しんで頂けるような行事を企画し行っていきたくと思っています。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1408 384 2063">新型コロナウイルスクラスター発生時の状況及び対応について</td> <td data-bbox="392 1408 762 2063"> <p>○出雲市より</p> <p>・行政や保健所と連携するうえで、困ったこと改善して欲しいことなどありましたか。</p> <p>○家族の代表より</p> <p>・詳しく状況説明及び経過が書いてあり、対応等良くわかりました。大変お疲れのことと思います。ありがとうございました。</p> <p>・今年は今の所、外出が出来ていません。コロナが収まり元気な内に少しでも多く家へつれて帰ってやりたいと思います。</p> <p>○地域住民の代表より</p> <p>職員の方も少人数での対応大変だったのではないでしょうか。特に の方は大変だったのでないでしょうか。</p> <p>これで見限り重症者の方はいらっしゃらなかったように見受けられます。その点はよかったですね。</p> </td> <td data-bbox="770 1408 1489 2063"> <p>・行政や保健所とは早期から密に連携を取り、クラスターの収束に向けてご指導頂きました。改善して欲しいこと等なく、いつでも丁寧な説明や助言をして頂きましたのでとても心強く感じました。</p> <p>・今回のクラスターについて、ご家族の皆様には大変なご心配をお掛けしました。また、ご利用者の皆様にも身体的・精神的にもご不便をおかけしました。今後も気を引き締めて感染対策に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>・私たちも元気なうちにお好きなところへ外出していただきたいと思いますが、法人で取り決めた感染対応に基づき、市内で感染者がなくなる限りは面会も制限している状況です。暫くこのような状況が続く、ご利用者の皆様へご不便をおかけしますが、一日でも早く外出や外泊をして頂ける状況になることを望んでいます。</p> <p>・今回の新型コロナウイルスに感染されたご利用者、職員ともに重症に至らず、その点においては安心しました。現在、ご利用者の皆様も以前の状態に戻られ、毎日、レクリエーションや茶話会、体操など元気に楽しんでいらっしゃいます。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	議題	委員からの意見・要望・質問等	意見等に対する回答	利用者状況報告	なし		活動状況報告・今後の行事予定について	<p>○家族の代表より</p> <p>・楽しい行事が再開出来ることを願っています。</p>	<p>・ご家族や地域の方を交えての行事は、まだまだ難しいところですが、施設内でご利用者の方に季節を感じ楽しんで頂けるような行事を企画し行っていきたくと思っています。</p>	新型コロナウイルスクラスター発生時の状況及び対応について	<p>○出雲市より</p> <p>・行政や保健所と連携するうえで、困ったこと改善して欲しいことなどありましたか。</p> <p>○家族の代表より</p> <p>・詳しく状況説明及び経過が書いてあり、対応等良くわかりました。大変お疲れのことと思います。ありがとうございました。</p> <p>・今年は今の所、外出が出来ていません。コロナが収まり元気な内に少しでも多く家へつれて帰ってやりたいと思います。</p> <p>○地域住民の代表より</p> <p>職員の方も少人数での対応大変だったのではないでしょうか。特に の方は大変だったのでないでしょうか。</p> <p>これで見限り重症者の方はいらっしゃらなかったように見受けられます。その点はよかったですね。</p>	<p>・行政や保健所とは早期から密に連携を取り、クラスターの収束に向けてご指導頂きました。改善して欲しいこと等なく、いつでも丁寧な説明や助言をして頂きましたのでとても心強く感じました。</p> <p>・今回のクラスターについて、ご家族の皆様には大変なご心配をお掛けしました。また、ご利用者の皆様にも身体的・精神的にもご不便をおかけしました。今後も気を引き締めて感染対策に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>・私たちも元気なうちにお好きなところへ外出していただきたいと思いますが、法人で取り決めた感染対応に基づき、市内で感染者がなくなる限りは面会も制限している状況です。暫くこのような状況が続く、ご利用者の皆様へご不便をおかけしますが、一日でも早く外出や外泊をして頂ける状況になることを望んでいます。</p> <p>・今回の新型コロナウイルスに感染されたご利用者、職員ともに重症に至らず、その点においては安心しました。現在、ご利用者の皆様も以前の状態に戻られ、毎日、レクリエーションや茶話会、体操など元気に楽しんでいらっしゃいます。</p>			
議題	委員からの意見・要望・質問等	意見等に対する回答														
利用者状況報告	なし															
活動状況報告・今後の行事予定について	<p>○家族の代表より</p> <p>・楽しい行事が再開出来ることを願っています。</p>	<p>・ご家族や地域の方を交えての行事は、まだまだ難しいところですが、施設内でご利用者の方に季節を感じ楽しんで頂けるような行事を企画し行っていきたくと思っています。</p>														
新型コロナウイルスクラスター発生時の状況及び対応について	<p>○出雲市より</p> <p>・行政や保健所と連携するうえで、困ったこと改善して欲しいことなどありましたか。</p> <p>○家族の代表より</p> <p>・詳しく状況説明及び経過が書いてあり、対応等良くわかりました。大変お疲れのことと思います。ありがとうございました。</p> <p>・今年は今の所、外出が出来ていません。コロナが収まり元気な内に少しでも多く家へつれて帰ってやりたいと思います。</p> <p>○地域住民の代表より</p> <p>職員の方も少人数での対応大変だったのではないでしょうか。特に の方は大変だったのでないでしょうか。</p> <p>これで見限り重症者の方はいらっしゃらなかったように見受けられます。その点はよかったですね。</p>	<p>・行政や保健所とは早期から密に連携を取り、クラスターの収束に向けてご指導頂きました。改善して欲しいこと等なく、いつでも丁寧な説明や助言をして頂きましたのでとても心強く感じました。</p> <p>・今回のクラスターについて、ご家族の皆様には大変なご心配をお掛けしました。また、ご利用者の皆様にも身体的・精神的にもご不便をおかけしました。今後も気を引き締めて感染対策に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>・私たちも元気なうちにお好きなところへ外出していただきたいと思いますが、法人で取り決めた感染対応に基づき、市内で感染者がなくなる限りは面会も制限している状況です。暫くこのような状況が続く、ご利用者の皆様へご不便をおかけしますが、一日でも早く外出や外泊をして頂ける状況になることを望んでいます。</p> <p>・今回の新型コロナウイルスに感染されたご利用者、職員ともに重症に至らず、その点においては安心しました。現在、ご利用者の皆様も以前の状態に戻られ、毎日、レクリエーションや茶話会、体操など元気に楽しんでいらっしゃいます。</p>														

利用者状況・活動状況・今後の行事予定

○ 出雲市より

報告のあった待機者2名の待機場所は在宅ですか、施設ですか。

施設より

1名は自宅です。もう1名は施設の住所になっているので入所しておられると思います。

家族の代表より

待機者は少ないですね。

施設より

市内の中心部と違って端の方だとよっぽど魅力がないと希望されないと言われたことがあります。

出雲市より

市内の中心部では相当な待機者がいるグループホームもあります。一方、周辺地域では定員割れしているところもあるという状況です。職員不足のために入所を制限しているところもあるようです。

施設より

グループホームの空き情報を出雲市のホームページに掲載したりはしておられませんか。はなんばの里は実質待機者がいない状況ですが、市の方でも情報提供等協力していただくとありがたいのですが。

出雲市より

情報提供等で可能な対応はさせていただきます。

○ 出雲市より

火災訓練は毎年実施しておられますか。夜勤者は2名ということで、夜間想定訓練を2名の職員でされたということですが、そこから気づかれたことはありますか。

施設より

年2回、夜間想定と日中想定で行っています。日中想定の際はデイサービスセンターやまももも参加しています。防火戸のない施設であるため、廊下を通過して安全な方向に一旦避難しても元の方向へ帰っていかうとする人もいます。スプリンクラーが作動すれば廊下も水浸しになるので、より避難は困難になると思います。(部屋の掃き出し窓から外への避難は段差があつて危ないので訓練ではしません)実際に火災が発生した時は部屋の掃き出し窓から直接外へ避難するしかないと思っています。現在の利用者のうち、半数以上の方は自力避難できないと思われます。

家族の代表より

夜勤者2名では実際には対応は難しいでしょう。近隣住民等の協力体制はありますか。

施設より

火災が発生した時は自動通報システムで消防に通報されるので、一番早く駆けつけてくれるのは消防だと思ひます。また、このシステムなどで職員宅にも通報されていくことになっています。また、近くの本町自治会と港町自治会には防災体制について協力をお願いしています。地震・津波などの場合は地域住民も自分たちが避難することで手一杯だが、施設の火災であれば救援に向かうことは可能である。はなんばの里から避難を求める際、拡声器を使って助けを求めた方がよいという助言があつたので、拡声器も用意しています。

○ 家族の代表より

コロナ禍で難しいかと思ひますが、一時帰宅は検討できませんか。

施設より

現在の当法人の取り決めでは出雲市内の感染者が0にならないとできないことになっていますが、現状をみると今後0になることはないように思ひます。一方、国が新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、現在の「2類」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に変更することを視野に見直しに向けた検討を始めるというニュースが報道されていました。そうなれば、当法人としても、対応を再検討していくことになると思ひます。

議題4(身体拘束等適正化について)

施設より身体拘束廃止委員会(詰所会議)の報告

- ・身体拘束廃止委員会(詰所会議)から別紙のとおり身体的拘束等の状況報告を行った。

11
月
30
日

身体的拘束等の状況報告

身体拘束の状況：緊急やむを得ない場合を含め、全く行っていない。

教育・研修等の開催：5月25日以降行っていない。

日常的ケアに対する取り組みと見直し：毎月、各ユニットで高齢者虐待、不適切なケアについて話し合いの場を持ち、翌月の目標として挙げ取り組んでいる。また、詰所会議にて各ユニットで挙げた日常的ケアに対する見直しを基に日々のケアを全職員で振り返り、適切なケアへと繋げていくようにしている。

ユニットでの話し合いから

勤務時間終了後にご利用者から声を掛けられトイレ誘導した。普段なら穏やかに対応するのだが、ただその利用者がトイレトペーパーを巻き取るようとしているだけのことなのに、過剰に反応してしまい、「取らんでいいよ。」ときつい口調で声を掛けてしまった。

用事があり早く帰りたいという気持ちと、利用者さんがトイレに行きたいと思っているのだから連れて行かなければならないという思いが混同し、結果、早く帰りたい気持ちが抑えられずイライラしてしまい後になって「いけなかったなあ」と反省した。職員の人数も少ない日であり、他の職員は他の利用者の介助に追われ、自分しか対応する者がいなかった。

上記の件について話し合いを持った。

- ・用事がある時は1分1秒でも早く帰りたいと思う気持ちは否めない。その中でイライラしてしまったが、利用者の訴えに対して対応したことは良い事だと思う。
- ・帰る間に色々な事があると、イライラしてしまう気持ちも理解できる。しかし、気持ちに余裕を持った対応を心掛けるようにしたい。
- ・どうしても急いで帰らないといけないう事であれば、もう一方のユニット職員に対応をお願いし、介助を代わってもらう。
- ・自分がしてしまったことに対し何も思わないというわけではなく、良くなかったと反省している。次に同じような事が起こった時には、今回の事を思い出し、穏やかに対応出来るのではないだろうか。

○ **出雲市より**

各ユニットでの話し合いは定期的に行っておられますか。

施設より

各ユニット月1回行っています。テーマを決めての話し合いも行っています。各ユニットで話し合われたことは詰所会議に報告し、適切なケアにつなげていくようにしています。

次年度事業について

○ **家族の代表より**

コロナ感染症について色々なことが緩和されてきていますが、次年度は行事や活動、面会などどうなりますか。

施設より

新型コロナウイルス感染症について、国も来春から分類を2類から5類に引き下げることを示しています。現段階では法人全体での話し合いは出来ていませんが、これからどうしていくのか話し合い決定し、その方針に従っていかうと思います。ただ、高齢者施設でありハイリスクを抱えることは変わらないのが現状です。

面会は現在、オンライン面会やガラス越しでの面会を行っています。どの程度、緩和できるのかわかりませんが、面会や外出など条件付きでも行っていけたらと思います。また、日常生活における行事は外出を控えてきましたが、感染リスクの低い場所などを選んで遠足や地域へ出掛けるといったことも行っていかうと考えています。

どこの施設も職員が不足しがちですが、業務の工夫をしながら、少ない人数でも行事や活動など、ご利用者の持てる力を十分に発揮させることが出来るように充実させていきたいと考えています。

身体拘束等適正化委員会

施設より身体拘束廃止委員会（詰所会議）の報告

- ・身体拘束廃止委員会（詰所会議）から別紙のとおり身体的拘束等の状況報告及び職員研修の実施報告を行った。

身体的拘束等の状況報告

身体拘束の状況：緊急やむを得ない場合を含め、全く行っていない。

教育・研修等の開催：令和5年1月11日(水) 詰所会議にて『高齢者虐待防止』と『身体拘束廃止にむけた取り組み』をテーマに介護職員による施設内研修を行った。

日常的ケアに対する取り組みと見直し：毎月、各ユニットで高齢者虐待、不適切なケアについて話し合いの場を持ち、翌月の月目標として挙げ取り組んでいる。また、詰所会議にて各ユニットで挙げた日常的ケアに対する見直しを基に日々のケアを全職員で振り返り、適切なケアへと繋げていくようにしている。

<研修会より>

- ・高齢者虐待の定義について、虐待の種類と併せて説明を受けた。また、高齢者施設では虐待を行う職種は介護職が圧倒的に多く、虐待発生の要因を知り対策をとることで未然に防ぐように組織全体で取り組む必要がある。
- ・高齢者虐待について、高齢者福祉に従事する職員は虐待を発見しやすい立場にある為、そのことを自覚し、早期発見に努める責務がある。また発見した場合、保険者への報告義務があることを再確認した。
- ・身体拘束については、明らかな身体拘束はないが、毎月「不適切なケア」について話し合い精神的な拘束も含め、「されて嫌なこと・言われて嫌なこと」を「されて嬉しいこと・言われて嬉しいこと」に変えていく環境（職員が互いに注意したり尊敬したりできる環境）作りをしていくことが大切。また、相手の特性も踏まえうたうで声を掛けていくことなど、日々の積み重ねにより身体拘束をしないようにしていく。
- ・緊急かつやむを得ず身体拘束をしなければならない場合についての3要件（切迫性、非代替性、一時性を同時に満たすこと）を再確認し、継続的なものではなく、いち早く廃止に向けての取り組みを行っていかなければならないことを確認した。

1
月
26
日

○ 地域住民の代表より

身体拘束について、この様な研修や会議を頻繁にもっておられるのですね。

施設より

毎月、不適切なケアにあたるであろうことについて、それぞれのユニットで話し合いを持ち、月1回の詰所会議でそれぞれ挙げた課題を話すようにしています。また、研修については高齢者虐待の研修と併せて年に2回行うようにしています。講師については自身の勉強にもなるので介護職員にお願いし、テーマを決めて行ってもらっています。

最近では保育園や介護施設などで虐待があったという報道を毎日のように聞いています。いくらこのような取り組みをしても良い印象を持ってもらえないのではないかと感じることもあります。

職員も人間なので腹が立ったり、上手に対応できない事があります。心身の拘束や虐待が起こる前の段階でこういった教育を行うことも重要だと考えます。

出雲市より

介護職員さんにとっては当たり前のような研修であっても、繰り返し継続していくことで身体拘束や虐待の防止になると思います。福祉施設は決して世間から悪い印象を持たれているわけではありませんので、取り組みとして継続して行って下さい。

地域住民の代表より

誰にでも色々な感情はあると思います。それを職員さんが一人で抱え込んでしまうことで虐待などに繋がると思います。色々な感情を認めながら何でも言える雰囲気をつくれたらいいですね。

○ 家族の代表より

春のお花見ドライブは参加利用者が4名と少ないですが、他の方は参加が難しい方たちですか。

施設より

報告した資料では4名となっていますが、本日数名の方が出かけておられるところです。出かけることが難しい方は2名おられます。

地域住民代表より

多数の行事を一日にまとめて行っておられるようですが、何か理由がありますか。

施設より

行事があるときには普段より職員の人数を増やしていますが、月に数回行事があるとそれだけ職員を増員しなければなりません。人員が不足していても同じ日にいくつもの行事を併せて行い、日々の人員の確保をしているという理由です。

3
月
29
日

○ 出雲市より

消防避難訓練をされたという報告がありましたが、災害対策の訓練などはどうしておられますか。また、非常災害対策や感染のBCPを作成しないといけないことになっていますが、まだ作成していない法人・施設も多いと聞きます。多伎の郷ではどうですか。

施設より

BCPは災害も感染も作成しています。しかし、はなんばの里で実際にコロナが発生して対応した時に見直しが必要だと強く感じま

した。都度見直しをしていかないといけないものだと思います。非常災害対策の訓練については田儀のはなんばの里・デイやまももは土砂災害の危険が高いので以前は単独で行っていました。その後、平成30年・令和元年の2回は多伎の郷全体で訓練を行うようになりましたが、コロナが発生して以降は中止しています。消防避難訓練のように毎年2回ずつやっている、自然と対応できるようになりますが、非常災害対策の訓練は長らく行っていないので様子がかめなくなってきました。コロナの状況にもよりますが、法人全体で行わないことになって田儀の施設だけは危険度が高いので行っていきたいと考えています。

○ 出雲市より

非常災害時の備蓄はどの程度ありますか。

施設より

3日分揃えるように努めてはいますが必要と思われる物全て揃えることは難しいです。逆に、施設の方で不足が生じた場合、市から支援してもらうことはできますか。市には備蓄がありますか。

出雲市より

市も避難所となるコミセンにいくらかの備蓄をしていますが、十分ではありません。要請があれば状況によっては協力できると思います。また、市の備蓄は一時的に貸与するという形になります。多伎行政センターに申し出てください。

○ 出雲市より

新型コロナ対策については、国が規制を緩和してきていますが、多伎の郷の対応方針はどうなっていますか。

施設より

国は規制を緩和する一方で高齢者施設での感染拡大を防ぐ取り組みも求めています。県の対応の中では『従業員にマスクの着用を求めることは許容される』と書かれています。多伎の郷では昨年の12月以降各施設・事業所でコロナが蔓延しようやく収まってきたという状況で、今後も対策の継続は必要と考えています。コロナが2類から5類に移行する5月までは、現状と同様の感染対策を続け、その後の状況で5月末からの対応を検討していくことにしています。面会はWEB面会・窓越面会・看取り時の面会に限定させていただきます。ボランティアの受入中止も継続です。職員に対しては勤務中だけでなく、勤務外でも外出時のマスク着用を求めています。ただ、実習生の受入は学生の資格取得等への影響が大きいので、感染対策をした上での受け入れを計画していきたいと考えています。

○ 出雲市より

多伎の郷ではトリニティカレッジ出雲校などの専門学校の学生に対して新規採用の募集をしておられますか。せっかく専門学校へ行っても福祉の仕事に就かない学生も多いということを聞いていますがどうでしょうか。

施設より

職員の欠員により募集しても学生の応募がないということもあったと思います。双方がうまくマッチングするということがなかなかなかったように思います。一方、多伎の郷の特養潮風苑では結果的に4、5名トリニティカレッジ出雲校出身の職員がいます。潮風苑で実習をして良かったからということで学生の方から応募するような形で就職した職員もいます。また、はじめは他の法人や会社に就職して、後に多伎の郷にかわってきたという職員もいます。

○ 地域住民の代表より

食費の値上げは実費分ですか。

施設より

はなんばの里の食費の大半は委託業者から送られてくる湯煎商材の金額です。委託業者が値上げした湯煎商材の金額一食分10円ずつをそのまま値上させていただくということになります。他に、はなんばの里で作っているご飯と味噌汁の原材料代としての米や味噌なども値上がりしているものがありますが、それは計算していません。

3月29日